

# 復活節第5主日

**朝第1礼拝** 9:00~10:00  
**朝第2礼拝** 10:30~12:00

＜神の招き＞  
 前 奏 ②我らに救いは来たりぬ ツァッハウ  
 招きの詞 詩編68:20~21  
 交読詩編 106:1~5  
 讚美歌 16

＜神の言葉＞  
 聖 書 出エジプト記3:13~15  
 (旧約 新共同訳 97頁)  
 マルコによる福音書6:45~56  
 祈 禱 (新約 新共同訳 73頁)  
 讚美歌 50

信 仰 告 白② 日本基督教団信仰告白  
 信仰告白式② 67  
 任 職 式②  
 幼 児 祝 福②  
 説 教 「湖上を歩く主」  
 熊江秀一牧師

祈 禱  
 黙 想  
 讚美歌 459

＜神への応答＞  
 使徒信条①  
 献 金  
 主の祈り  
 宣 教 報 告②  
 頌 栄 29  
 派遣と祝福  
 後 奏 ②我らに救いは来たりぬ パッハ  
 宣 教 報 告①

**サテライトチャーチ植竹礼拝** 10:30~11:30  
**夕 礼 拝** 18:00~19:00

＜神の招き＞  
 前 奏 ☑ 聖なるキリストは蘇り給えり ヴァルター  
 招きの詞 詩編68:20~21  
 交読詩編 106:1~5  
 讚美歌 351

＜神の言葉＞  
 聖 書 エゼキエル書36:24~28  
 (旧約 新共同訳 1356頁)  
 ヨハネによる福音書15:18~27  
 祈 禱 (新約 新共同訳 199頁)  
 讚美歌 53  
 説 教 「言葉が実現する」 甲賀正彦伝道師  
 祈 禱  
 黙 想  
 讚美歌 535

＜神への応答＞  
 使徒信条  
 献 金  
 主の祈り  
 宣 教 報 告  
 頌 栄 29  
 派遣と祝福  
 後 奏 ☑ キリストは死の絆につき給えしが  
 パッヘルベル

**ワーシップ (賛美礼拝) 14:00~15:00**  
 説教「神の作品」熊江秀一牧師  
 エフェソの信徒への手紙2:8~10  
 賛美: 詩編117、いのちの光、ワンボイス、  
 求めて、栄光から栄光へ、土の器、他

## 次週の礼拝 (5月5日) 聖餐式

①9:00、②10:30 説教「清さと汚れ」熊江秀一牧師 イザヤ書29:13~14、マルコによる福音書7: 1~23 交読詩編8:1~10 讚美歌17、51(奉唱I-242)、436、81、27	☑18:00 説教「平和を得るために」甲賀正彦伝道師 出エジプト記33:7~11、ヨハネによる福音 書16:25~33 交読詩編8:1~10 讚美歌216、561、90、81、27
---	--

\*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。\*は祈禱当番の方。\*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☑は夕礼拝。

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 5月の宣教の為に
4. 子供たちの成長の為に
5. 日本基督教団の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄弟の為に

\*関東教区お祈りカレンダー 新島学園短期大学 新島学園中学校・高等学校 キリスト教センター

◇先週の説教より 「羊の世話をする」ヨハネによる福音書21:15~25、イザヤ書62:1~5 甲賀正彦伝道師

イエス様は「わたしを愛しているか」と問われ、「私の羊を飼いなさい」と命じました。イエス様を愛するとは、羊の世話をすることです。羊とは、仲間、子供、親、生きるもの全てです。優しく、心を配り、丁寧に扱い、背負い、守り、慰め、いたわること、それがイエス様を愛することです。「立ち直ったら兄弟たちを力づけてやりなさい」、「互いに愛し合いなさい」と命じておられるのです。

讚美歌483「わが主イエスよ、ひたすら」は19世紀のアメリカの讚美歌で、今も愛される名曲です。私はこの讚美歌の意味を誤解していました。この歌は「愛をば」つまり、「愛してください」とイエス様に愛をくださるようお願いしているのだと思っていました。しかし、違いました。その正反対でした。

「愛をば」ください、ではなく、「主を愛する愛をば」、つまり、主を愛させてください、愛せるようにしてください、と願っているのです。

この歌の原題は、More Love to Thee (もっと、あなたに愛を)。エリザベス・ブレンティス、という女性の作です。彼女は二人の子供を相次いで亡くし、全てを失ったと思われるとき、讚美歌435「主よ、みもとに」に慰められ、この歌に敬意を込めて讚美歌483を作りました。

本当に苦しいとき、愛を下さいではなく、愛させてください。主を愛することは、主の羊を愛すること、大切にすること、いたわること、仲良くすること、愛に生きるということ、そこに本当の救いがあるのです。